

# よこすか E C O 通信



第26号(平成29年9月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 江戸時代のエコな暮らしに学ぶ



江戸時代の人々の「少ないものを大切に、最後まで使いきる」という暮らしぶりは、現代に生きる私たちにも参考になりそうです。

例えば着物ですが、江戸時代の着物は糸をつくることから全て手作業なので、大変な手間がかかり、新品はとても高価でした。そのため、庶民は古着屋から着物を購入するのが一般的でした。着ている着物が古くなると子ども用などに仕立てなおしました。さらに古くなり、着物では使えなくなると赤ちゃんのおしめや、下駄(げた)の鼻緒(はなお)、雑巾(そうきん)等にしました。その雑巾や下駄の鼻緒が擦り切れて使用不可能になったら、今度は燃料にしました。江戸の人々は、燃やした後にできた灰も無駄にせず、灰をためておいて灰売りというリサイクル業者に売りました。

灰売りは、庶民から買った灰を製紙業者や染物屋、造り酒屋に売っていました。灰売りから灰を買った製紙業者は紙の原料を煮沸(しゃぶつ)する時に利用し、染物屋は色素の抽出や色を鮮やかにする用途に灰を活用していました。酒造りでは木灰を麴(こうじ)作りの種麴に利用していました。このようにして、着物でも下駄でも最後まで使いきっていたので、ごみも多くありませんでした。ものを大切にするこの暮らしは、終戦直後まで庶民の間に引き継がれていました。古くなった毛糸のセーターはほどいて毛糸にして、別のセーターに編みなおして着たり、着物もほどいて洗い張りをして仕立て直し、大切に着ていました。

一方、2017年の現在に生きる私たちは、たくさんのもとと共に便利な生活をしています。今の生活環境をこのまま未来へ引き継いでいくためには、ごみを少なくして**限りある地球の資源やものを有効に繰り返し使う社会(循環型社会)**にしていく必要があります。江戸時代と同じようにはいきませんが、今私たちができることから始めませんか。

参考：環境省HP

### 限りある資源を大切に使うために (3つのR (3R))

#### ★Reduce (リデュース) とは

〈ものを大切に使い、ごみを減らすことです〉

- 例1：必要のないものは買わない、もらわない
- 例2：買い物にはマイバッグを持参する

#### ★Reuse (リユース) とは

〈使えるものは繰り返し使うことです〉

- 例1：詰め替え用の製品を選ぶ
- 例2：いらなくなった物を譲り合う

#### ★Recycle (リサイクル) とは

〈ごみを資源として再び利用することです〉

- 例1：ごみを正しく分別する
- 例2：ごみを再生して作られた製品を利用する



法被(はっぴ)で「布バッグ」を作りました



紙バックで「紙バックいす」を作りました

リサイクルプラザ  
“アイクル”での  
「リサイクル体験教室」の作品です

出典：環境省地球環境局HP

2面は「秋の環境講座などのお知らせ」、3面は「3R活動などのお知らせ」、4面は「季節の生き物図鑑」を掲載しています。



# 秋の環境学習講座などのお知らせ



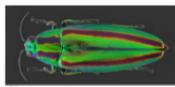
横須賀市自然・人文博物館

## 企画展示「実物のない展示会～自然科学と二次資料」

日時 11月5日(日)まで 9:00~17:00  
場所 博物館本館特別展示室

### 展示解説(参加自由)

日時 10月1日(日)、11月4日(土) 14:00~15:00  
ヤマトタマシの標本写真



☆みどころ 竜脚類の歩行跡レプリカ、恐竜や始祖鳥等の化石レプリカ、バードカービングやウミウシ、キノコ、放散虫の模型。

## 自然観察会「つくって学ぶ！ しだ・こけテラリウム」

日時 11月5日(日) 13:00~16:00  
場所 馬堀自然教育園  
参加費 1人200円  
定員 30人  
(小学生以上で小学生は保護者同伴)  
締切 10月21日(土)



### ★事前申込制。

申込方法 締切日までに往復はがき下記事項を記入して、下記宛先へ  
往信面①行事名②参加者全員(家族のみ)の住所・氏名・年齢・電話番号  
復信面①参加者(代表者)の住所②氏名

宛先・問合せ先  
横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 横須賀市深田台95番地  
電話046-824-3688  
E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 小中学生の土曜体験プログラム

### すかっ子セミナー2017 合同発表会

5月から10月まで毎月1回土曜日に三浦半島各地で活動してきた体験について、すかっ子セミナー2017に参加した“すかっ子全員”が発表します。  
一般の方、小中学校の先生方も、ぜひご来場ください。

日時 11月19日(日) 13:00~16:30  
会場 まなびかん5階大学習室  
活動発表&サポーター講評

- (1) 1コース生活環境系 “エコニコ・サークル”
- (2) 5コース自然系A “川がき探検隊”
- (3) 6コース自然系B “自然博士になろう”
- (4) 8コース自然系D “海っ子・山っ子”
- (5) 9コース自然系E “すかっ子ヨットクラブ”  
(体験組・根性組)
- (6) 10コース創作科学 “創作・科学クラブ”

修了証授与・記念撮影

問合せ先 すかっ子セミナー事務局  
Email: ypshirof@aol.com



## 市民大学 後期講座 (全21講座)



### 『再エネ時代—いまとこれから』 市民から再エネ時代への対応を考える

日時 10月27日、11月10日、24日、12月8日、22日、1月19日、2月9日、2月23日  
(金曜日・全8回) 13:30~15:30  
場所 生涯学習センター(ウェルシティ市民プラザ5階)  
内容 再生可能エネルギー時代の現状と未来を学ぶ。  
定員 40人  
受講料 1人 4,080円  
申込方法 通常はがき、電話、来館、ホームページのいずれかで下記宛先へ  
申込み時の必須項目は、①講座名②住所③氏名(ふりがな)・年齢④電話番号⑤託児(有料)の希望  
締切 9月20日(水) 20時(締切後は電話で問合せ)  
宛先・問合せ先 生涯学習センター(まなびかん)  
〒238-0046 横須賀市西逸見町1-38-11  
電話046-822-4873  
詳細や他の講座は、まなびかんホームページ(<http://manabikan.net/>)、市民大学募集要領などをご覧ください。

## 三浦半島「自然ふれあい楽校」 オータムフェスタ2017

オータムフェスタ2017(11/3文化の日・4土・5日)を今年も開催します。みなさん、いっしょに自然を満喫しながら、自然を学びませんか。

- ①自然ふれあいコンサート「草原に響け アルプホルン」  
11月3日(金・文化の日) 14:00~15:30  
こども~おとな35人(500円/1人)
- ②前田川(支川・尾形瀬川)完全踏破  
11月4日(土) 9:30~14:30  
小学校4年以上20人(500円/1人)
- ③野原と星空観察会  
11月4日(土) 16:30~19:00  
こども~おとな20人(500円/1人)
- ④第3回ファミリー植樹祭と森の教室  
11月5日(日) 10:30~14:30  
20家族(1000円/1組)



場所 湘南国際村めぐりの森、自然ふれあい広場  
申込期間 10月5日(木)~28日(土)  
定員になり次第締切  
申込方法 希望者はプログラム番号(①~④複数可)  
住所・氏名・年齢・電話番号を記載しE-mail・FAX・往復はがきのいずれかで下記宛先へ  
<http://sizen-fureai.com>からも申込可

宛先・問合せ先 三浦半島「自然ふれあい楽校」  
担当: 野崎  
〒240-0105 横須賀市秋谷4575-2  
電話/FAX: 046-857-8636  
E-mail: miurafureai@gmail.com



# 3R活動などのお知らせ



## リサイクルプラザ“アイクル”で 「リサイクル体験教室」に参加しませんか

リサイクルプラザ“アイクル”では、「リサイクル体験教室」を毎月開催しています。楽しみながら、リサイクルの知識や技術を学び、ごみの減量化を目指していきます。「リサイクル体験教室」で古着や着物をリユースしてみませんか。

### ☆9月締切分☆

着物リフォーム（全3回・木曜日）

10月5・19・26日 10:00~15:00 定員10人

裂き布ぞうり（全1回・金曜日）

10月6日 9:00~12:00 定員13人

つるし雛（全5回・金曜日）

10月13・20・27日、11月10・17日

10:00~15:00（初回9:30~） 定員10人



応募方法 はがき又は E-mail で下記①~⑥を記入し、下記宛先へ  
①講座名②住所（郵便番号も）③氏名（ふりがな）④年齢  
⑤電話番号  
当選者のみに連絡（持参品と案内書を送付）します。

締切 はがき 9月20日（水）必着

E-mail : aicle@city.yokosuka.kanagawa.jp  
9月20日（水）17時まで

宛先・問合せ先 リサイクルプラザ“アイクル”  
〒237-0062 横須賀市浦郷町5-2931 番地  
電話046-866-1196



★11月以降もクリスマスリース作り、福来たる！お正月飾り、古着・古布のおしゃれバッグ、手作り雛人形、紙バックいす等の体験教室を予定していますので、ぜひご参加ください（詳しくは上記問合せ先へ）

## “アイクル”フェア

リサイクルプラザ“アイクル”では、3R（リデュース・リユース・リサイクル）意識の啓発を目的として、年に3回“アイクル”フェアを開催しています。

第58回“アイクル”フェアは11月23日（木・勤労感謝の日）に開催します。今回は市立学校からの返納品を1品200円で提供する予定（当日先着順）です。他に再生家具の提供（有償・無償）リサイクル自転車販売、資源協同組合によるトイレトペーパーのつかみ取り等、さまざまなイベントを予定しております。お誘い合せのうえご来場ください。

なお、今回から無料駐車場は100台程度までとなります。公共の交通機関、無料のシャトルバスなどをご利用ください。

問合せ先 リサイクルプラザ“アイクル”  
電話046-866-1196 担当：岸



## 横須賀市地球温暖化対策地域協議会 夏季よこすか節電チャレンジ

今夏、ご家庭で節電に取り組み、電気使用量が前年同月を越えなかった方の中から、抽選で20人の方にLED電球をプレゼントします。

対象期間 平成29年7月~平成29年9月

応募口数 1か月分を1口とし、1世帯につき3か月分（3口）まで

締切 10月16日（月）

応募方法 各月の「電気ご使用量のお知らせ」（検針票）の写しに「電話番号」、「世帯人数」を明記のうえ、下記宛先へ持参または郵送で。

問合せ先・宛先 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局  
（環境企画課内）  
〒238-8550 横須賀市小川町11番地 電話046-822-8524

## TOKYO 2020 都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の金・銀・銅メダルに使用済小型家電に含まれる有用金属を活用する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。

横須賀市は本プロジェクトの趣旨に賛同し、この取組に協力しています。

不要になった小型家電を市内に設置している回収ボックスに投入してください。

あなたの小型家電が金・銀・銅のメダルに生まれ変わります。

### ○対象の16品目（縦15cm×横30cm以内）

- ・携帯電話・PHS
- ・スマートフォン
- ・電話機
- ・携帯ラジオ
- ・デジタルカメラ
- ・ビデオカメラ
- ・ポータブルDVDプレーヤー
- ・携帯音楽プレーヤー
- ・ICレコーダー
- ・テープレコーダー（デッキを除く）
- ・補助記憶装置
- ・電子辞書
- ・ゲーム機
- ・ポータブルカーナビ
- ・理容用機器（ドライヤー、電気かみそり、電動歯ブラシ）
- ・以上15品目の付属品（リモコン、ACアダプタ、充電器、電気コード）

### ○回収ボックス設置場所

- ・市役所本庁舎
- ・追浜行政センター
- ・田浦行政センター
- ・逸見行政センター
- ・衣笠行政センター
- ・大津行政センター
- ・浦賀行政センター
- ・久里浜行政センター
- ・北下浦行政センター
- ・西行政センター
- ・総合福祉会館
- ・南処理工場
- ・リサイクルプラザ“アイクル”
- ・資源循環久里浜事務所
- ・資源循環日の出事務所
- ・エイビイ平成町店（くらし館入口付近）
- ・市民活動サポートセンター※臨時設置

問合せ先 資源循環部資源循環総務課  
横須賀市小川町11番地  
電話046-822-8419



秋の訪れとともにニュースなどでとり上げられるようになる「スズメバチ」という昆虫が、木や建物に巣をつくることをご存知でしょうか。スズメバチ類は毎年新しい巣を初夏からつくりはじめ、秋に巣が大きくなってオスバチや翌年女王になる新女王バチが出ていくと、それまでの女王バチや働きバチは冬までに死んでしまい、巣は空になります。

2015年の春、博物館に興味深いハチの巣が届けられました。「変な巣」ということで持ち込まれたそれは、地面に落下して壊れたとみられるバレーボール大のキイロスズメバチの巣だったのですが、中から出てきたのは鳥の巣材や羽毛、そしてアシナガバチ? . . . さっそく中身を詳しく調べてみました。

キイロスズメバチの巣（外皮と巣盤）以外に確認された内容物は、

- ① 枯草などのかたまり、②キイロスズメバチ新女王の羽化直前死骸、③越冬中のキアシナガバチの新女王9匹(生存)、④ムクドリ風の風切羽3枚、⑤ムクドリの羽毛3枚、

でした。

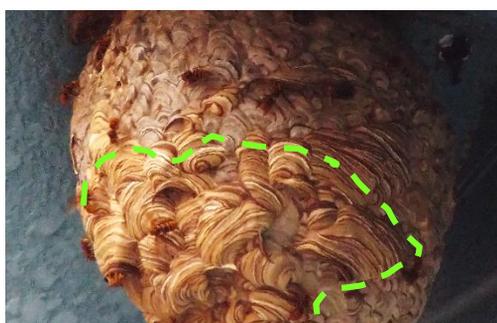
以上の内容物から想像した「ハチの巣のリユース」と思われるストーリーは次のとおりです：前年秋の終わり頃、キイロスズメバチの巣は空になり、羽化に失敗した新女王(②)が取り残されました。そこへ越冬場所を探していたキアシナガバチの新女王9匹(③)がやってきて、巣の中で冬ごしをはじめます。しかし、この冬ごしは、この巣を子育ての場所に定めたムクドリ(④・⑤)によって終わりを迎えました——せっせと巣材(①)を運び込むムクドリの重さに耐えきれず、キイロスズメバチの巣自体がついに落下してしまっただけでした。



「変な巣」として届けられたキイロスズメバチの巣とその中身。①は本文参照。



上の写真の巣の中から出てきたもの。②～⑤は本文参照。



再利用されたキイロスズメバチの巣。点線より上が古く、下が新しい。  
(保健所生活衛生課撮影・提供)

他の虫や動物のねぐら・住みかにリユース(?)されたスズメバチの巣の話でした。

スズメバチではまれに、空っぽになった巣をベースに新しい巣がつけられる「リユース」の例があるようです。左はキイロスズメバチが古い巣を活用した珍しいケースです。

出典：内船俊樹(2015) スズメバチの廃巣をめぐる顛末。かまくらちょう, (88): 50-51.

(横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員)

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館  
(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます!)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトリアル事業の一環として発行しています。

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

